

オールドタイマー 競技要項

H26.8.21

- 1) 競技規則 この要綱に定めるもののほか、日本アイスホッケー連盟規則及び国際競技規則による。ただし、アイシングをしたチームの選手交代を、ローカルルールとして認める。

2) 競技時間など

(1) 試合時間	練習	5分
	第1ピリオド	15分 (ストップタイム)
	インターバル	3分
	第2ピリオド	15分 (ストップタイム)
	インターバル	3分
	第3ピリオド	15分 (ストップタイム)

(但し、リンク終了時間2分前に試合が終了しない場合その時点で試合終了とする)

(2) ペナルティータイム

(今期より、60歳以上ベスト着用者もそうでないものも同タイムとする)

マイナー	2分のストップタイム
メジャー	5分のストップタイム
ミスコンダクト	10分のストップタイム

(3) ペナルティーの補足

イ) ボディーチェックの禁止

ボディーチェックは、マイナー又はメジャーペナルティーが課せられる。

ロ) スラップショットの禁止 (ハイスティックを含む)

スラップショット (膝より高い位置からパックをたたいた場合は、ゴールへのショットであろうとなかろうと、スラップショットの反則をしたものとみなす。) を行った選手はマイナーペナルティを課せられる。

ハ) ファイティングの禁止

(a) 競技者に闘拳により攻撃 (又は煽動) したとみなされた選手にはメジャーペナルティーと自動的なゲームミスコンダクトペナルティーが課せられる。

(b) ファイティングペナルティーを科せられ選手は自動的に懲戒委員会の判断が下される迄出場停止処分となる。

ニ) 同一の試合で3回ペナルティーを課せられた選手は、その試合の残り時間を退場となる。

3) ペナルティーの特記事項

全てのマッチペナルティーを課せられた選手は無期限出場停止処分とする。

4) 義務

全て練習・競技中はヘルメットの正規着用が義務付けられる。又、顔マスク・バイザーの着用を推奨する。

5) 選手の人数

- (1) ユニフォーム着用は上限を設定しないが、全選手が出場できる様に取り計らうこと（ベンチウォーマーは、0 とすること）、該当チームがあった場合は失格ゲームとする。
- (2) 試合成立の為の人数は、試合開始までにゴールキーパー以外に、選手5人以上、第2ピリオド開始までに8名以上に満たない場合は、試合を放棄したものとみなし不戦敗とする。

6) 補助規則

- (1) 棄権
試合を棄権するチームは試合日の24時間前までにその理由と共に連盟とオールドタイマーアドレスにメール連絡すること。
試合を棄権するチームは不戦敗（スコアは0対15）とする。
- (2) 当番
当番チームは原則8名以上が試合30分前に集合し、試合のオフィシャルを務める。
止むを得ず当番を肩代わりする時は、前項（1）棄権の連絡方法で行う。又、試合記録の管理、T I H Fスコア連絡サイトへの入力を遅滞なく確実且つ速やかに行う。
当番チームの責任者は、大会委員長及び大会運営委員の代行としてゲームを管理する。
- (3) 罰則
試合及び当番に遅刻、欠席、棄権及び連盟規約違反をした場合は、罰金から無期限出場停止までの罰則を課す。

7) スーパーバイザー

当番チームの責任者はスーパーバイザーの任に当たる。

以上